

シンポジウム

環境と人間の ほっかいどう史

1万年以上つづいた縄文文化。北海道の大地に根付いたアイヌ文化。
地球環境のダイナミックな変化のなかで、自然を畏敬し、恵みに感謝する、
北海道の歴史に生きる精神(こころ)に学び、私たちの向かう未来を考えます。

プログラム

- 13:30 ご挨拶
堀 達也 氏 (北海道21世紀「自然・ひと・もの・こころ」研究会代表、
北海道開拓記念館 館長、前北海道知事)
- 13:35 マレウレウスステージ
女性グループ4名によるアイヌ伝統の唄
- 13:50 講演1
「北海道・自然と人」
辻井 達一 氏 (北海道環境財団理事長)
- 14:30 講演2
「自然とともに生きた人間史ー縄文文化からアイヌ文化へ」
大島 直行 氏 (伊達市噴火湾文化研究所長)
- 15:10 対談
「21世紀北海道の“自然・ひと・もの・こころ”を考える」
辻井 達一 氏×大島 直行 氏
- 15:40 終了

2011年12月10日 土 午後1時30分～3時40分

会場 札幌プリンスホテル 国際館パミール 6F「大雪」

《申し込み方法》 裏面に必要事項を記入し FAX でお送りください。

主催 北海道21世紀「自然・ひと・もの・こころ」研究会

後援 北の縄文文化を発信する会



講師プロフィール 辻井 達一 (つじいたついち)さん

財団法人北海道環境財団理事長、中央環境審議会自然環境部会長、釧路国際ウエットランドセンター技術委員長、特定非営利活動法人北海道遺産協議会会長、農学博士。1917(昭和6)年、東京都生まれ。北海道大学大学院博士課程修了後、北海道大学農学部で広範囲の各種植物の群落を植物社会学的手法を用いて解析し、その変動や遷移を研究。現在は、財団法人北海道環境財団理事長として、北海道の環境全般の保全と管理に関する業務に携わっている。
主な著作に「湿原」(中央公論社)、「湿原生態学」(講談社)、「日本の樹木」(中央公論社)などがある。



講師プロフィール 大島 直行 (おおしま なおゆき)さん

札幌医科大学客員教授、伊達市噴火湾文化研究所長。医学博士。1950(昭和25)年、釧路管内標茶町生まれ。東洋大学文学部史学科卒業後、千歳市役所を経て札幌医科大学助手となり、人類学、解剖学を学ぶ。1995(平成7)年より伊達市にて史跡・北黄金貝塚の整備、遺跡調査などの業務に携わるほか、音楽や絵画など芸術をも含む総合文化行政に積極的にかかわってきた。
各地に縄文の研究会を立ち上げる一方、北の縄文文化を発信する会の会員として、縄文文化の世界遺産登録へ向けて日夜奮闘中。近著に「対論:文明の原理を問う」(麗澤大学出版)。



マレウレウ

「ウポポ」と呼ばれるアイヌの伝統的な歌の再生と伝承をテーマに活動している女性グループ。

さまざまなリズムパターンで構成される、天然トランスな感覚が特徴の輪唱など、アイヌROOTSのウポポを忠実に再現する貴重なアーティスト。

トンコリ奏者OKIのサポート・アーティストとしてこれまでオーストラリア、ドイツ、アメリカなどで公演を行い、現在、国内外の各ジャンルのアーティストやクリエイターから熱い視線を注がれ、今後の活動が期待される最注目のユニット。

2010年初のミニアルバム「MAREWREW」を発表。また、自らが主催するウポポの祭典「マレウレウ祭り～目指せ100万人のウポポ大合唱!～」をスタートさせ、UAをゲストに迎えた今年2月の開催は大きな話題となった。マレウレウはアイヌ語で「蝶」のこと。

[メンバー:Rekpo, Hisae, Rim Rim, Mayunkiki]

《申込方法》 下記の申込書に必要事項を記入してFAXでお送りください。

FAX 011-221-0117

申 込 書

代表者名	参加人数
住 所	
連絡先 電話番号	

北海道21世紀「自然・ひと・もの・こころ」研究会 事務局
(札幌市中央区大通東1丁目3番地 (株)シービーツアーズ内 TEL:011-221-1122)